



## 「第2回生徒会総会を開催しました」

(1)生徒たちに、総会のイメージとスタイルをとらえさせること、(2)1年間の生徒会活動についての反省を行い達成事項や改善点について意見を交換することで来年度の生徒会活動に生かそうとする態度を養うこと、を目標に掲げ2月4日に「第2回生徒会総会」を行いました。

生徒一人一人の意識を高めるため、生徒会総会では冬の寒い中でしたが、全校生が体育館に集まり、議論したいという子どもたちの思いに応え、要点を絞る工夫をし、例年より時間を短縮して行いました。会のはじめに、生徒会長から「あいさつ世界一の学校にしたい」とあいさつがありました。各委員会や各部活動の活動報告の後、事前に行われた議案書審議で各学級から出された質問・要望に対する答弁が行われました。

「学校に設置されている目安箱の効果的な活用方法について」など、全12の質問・要望が出され、その一つ一つに代表者が丁寧に答弁していました。

最後には、ルールメイキング委員会から①一斉衣替えの廃止②土日祝日のスマホ持込みの見直し③体育館の入退場の仕方の見直しの3つの提案がありました。

全校生徒でよりよい小野中学校をつくりたいという気持ちが感じられた生徒会総会になったと思います。また選出された議長の2年生2人の臨機応変な進行により、時間通りに会を終えることができました。

今後も、小野中学校が生徒にとって、過ごしやすく、魅力ある学校であるために、生徒を中心に議論を重ねていきます。



### ＜お知らせ＞

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



## 「町内企業に勤務する外国人技能実習生の皆さんと交流」

1月18日に小野高校で、町内企業に勤務する外国人技能実習生の皆さん(インドネシア)と本校家庭クラブの生徒が食を通じた文化交流会を行いました。

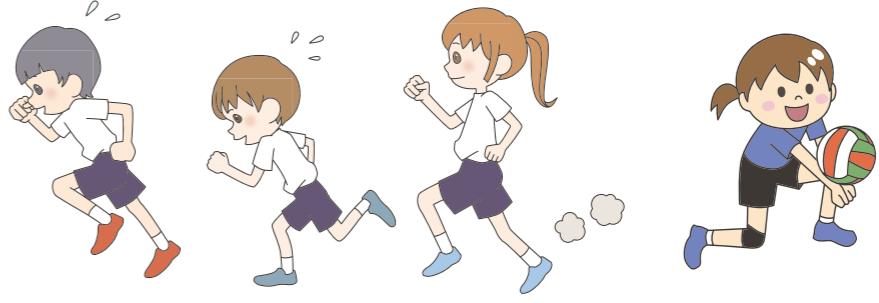
技能実習生の皆さんは、インドネシアの郷土料理(サテサテ・オーレ・メンドワン)を、本校家庭クラブはけんちん汁とおにぎりを作りました。また今年度のそば打ち甲子園に出場した本校そば打ちチームの生徒も参加し日本そばを振る舞いました。

食事後は、合唱やbingoゲームで交流しました。技能実習生の皆さんも楽しんでいました。



小野小学校では、スポーツクラブ、手芸クラブ、絵手紙・イラストクラブなど11種類のクラブが設置されています(年間15時間実施)。児童は、どれか一つのクラブを選びそこで活動します。

4年生から6年生の児童が異学年の児童と一緒に活動する貴重な時間です。見学会では、4年生から6年生までの児童が1年間の活動の成果の発表も含めて、3年生に自分のクラブのよさを伝えようと頑張っていました。



## 「オリジナルのアイスバーガー試食会！」

6年生の総合的な学習の時間では、「小野町の笑顔とがんばりを増やして、幸せな町をつくろう」というテーマのもと、4つのグループに分かれて自分たちの課題を追求する学習を行っています。その中の一つのグループは、小野町で推しているアイスバーガーの新作を考えようと取り組んできました。先日、その試食会が行われました。名前は「小野スマイルバーガー」です。具材やバンズも小野町産や手作りにこだわった、おいしいアイスバーガーで、試食した教職員にもとても好評でした。またロボット製作チームともコラボして、注文を受けたアイスバーガーをロボットが運ぶというパフォーマンスもありました。このロボットの製作には、福島高専の教授や学生の方々が協力してくださっています。地域の方々の協力により、充実した学習になっています。



### ＜お知らせ＞

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



## 保育参観で親子運動会

3歳より小さいクラスの保育参観で、合同で「ミニミニ親子運動会」を開催しました。ハイハイやヨチヨチ歩きの競争、おんぶレースのほか、親子一緒にダンスなど、和やかでゆったりとした雰囲気のなか行われ、会場はたくさんの笑顔に包まれました。

保育参観当日は、たくさんの保護者の皆さんが来園され、子どもたちの遊びの様子だけではなく、給食の様子なども参観され、子どもたちと一緒に時間を過ごしました。



## おのまち認定こども園通信



こども園に動物型のかわいらしい遊具が仲間入りしました。これから多くの子どもたちに遊んでもらうことで、園庭がより楽しくにぎやかになることを願っています。



### 新しい遊具が仲間入り

#### 地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ~ ~友だちを誘って遊びませんか~

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。(こども園に在園していないお子さんも利用できます。)電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

#### 開催日

月曜日・水曜日・金曜日

#### 開催時間

午前10時から午後3時まで

#### 料金

無料

#### 問い合わせ

おのまち認定こども園 ☎73-8321



着任して2年目に突入しました。地域おこし協力隊の成井です。1年目は地域住民の方々や役場職員の皆さんに支えていただきました。本当にありがとうございました。そして2年目はより具体的に小野町へ人を呼び込むたいと考えています。首都圏イベントで新しくPRでることを発掘・構築したいのです。そのために、町民の方々との交流をこれまで以上に増やして、他市町で

おのまち

## 地域おこし協力隊活動記

### 2年目に入りました!

着任して2年目に突入しました。地域おこし協力隊の成井です。1年目は地域住民の方々や役場職員の皆さんに支えていただきました。本当にありがとうございました。そして2年目はより具体的に小野町へ人を呼び込みたいと考えています。首都



町民との交流での焚火

として2年目はより具体的に小野町へ人を呼び込みたいと考えています。首都圏イベントで新しくPRでることを発掘・構築したいのです。そのために、町民の方々との交流をこれまで以上に増やして、他市町で

おのまち

#### 今回の担当は…



なみい ときあき  
成井 秋暁 隊員  
担当/移住・定住・交流  
分野  
主な活動場所/  
つどっておのまち

村から見た小野町の魅力など多方面からの意見を集約・反映していきながら自身の活動に取り組みたいと思います。今年は成果を残せるよう頑張りますので、応援していただけるとうれしいです。その成果を実現するために新しい方法を町に提案することもあるでしょう。ですので町のこれからを思つて皆で町を盛り上げていませんか?何よりも、町外へ行つてしまつた小野町出身の人たちに戻つてきたいと感じてもらえる町にするのが今の目標です。Uターンの地域おこし協力隊がきてくれるといいな、と密かに考えています。

石川町には、旧小学校を自然環境活用型地域交流施設として利活用している「ひとくらす」があります。県の方からも注目されていて、宿泊や農業体験、イベント開催など地方ならではのグリーンツーリズムを推進しています。小野町もそれに続いていき、町民と移住者の交流、新規開業による定着率アップ、企業誘致による雇用創出を目指していきたいと思います。また、全国の自治体と連携して移住支援を行っている「NPO法人ふるさと回帰支援センター(東京都)」との連携も強化し、多くの方が集まる場所で小野町をお勧めしていただけるよう関係性を築いていこうと思います!



東京での移住フェアへ参加

また2月末で先輩協力隊の2人が卒隊しました。いろいろなことを教わりました。新天地でもそれぞれ個性を發揮して活躍していただきたいです。私はと言えば、いつ新しい協力隊が着任したとしても小野町で一緒に頑張りたいと思つていただけるような人材であるよう努めてまいりますので、2年目も引き続きよろしくお願いします!

#### 今回の担当は…



なみい ときあき  
成井 秋暁 隊員  
担当/移住・定住・交流  
分野  
主な活動場所/  
つどっておのまち

## おのまちごみ減量大作戦！ ～資源とごみの分別についてご紹介します～

福島県民1人が1日に出すごみの量は、令和4年度で1,021グラムと47都道府県で最多、ワースト1位でした。

小野町では、1人あたり836グラムで県の水準よりは低い数値ですが、さらにごみ減量化に取り組む必要があります。

そこで、今月から「おのまちごみ減量大作戦！」として、広報おのまちで資源とごみの分別について掲載します。ごみ減量化には町民の皆さんのご協力が欠かせません。

ごみを減らし資源としてリサイクルすることで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)発生の抑制や、埋立て(最終処分)の量を減らすことができます。

ごみの分別を行い、限りある資源を繰り返し利用できる循環型社会を実現しましょう。

### ごみ収集所の適正な管理のお願い

#### ■分別のお願い

ごみを正しく分別し、決められた日(曜日)に決められた収集所に出してください。

それぞれの専用袋の口はしっかりと結んでください。

※ごみの種類ごとに、異なる収集車で収集しています。

※必ず小野町の指定袋に入れて出してください。他市町村の指定袋やその他の袋に入ったものは回収しません。

#### ■時間の厳守

ごみは町指定のそれぞれの専用袋に入れて、決められた日の朝8時30分までに、収集所に出てください。

※収集は、朝8時30分から順次行っています。

#### ■管理の徹底

収集所の管理は、利用している皆さんで行うようになります。

利用者間で掃除当番を決めるなどし、清潔に保ちましょう。

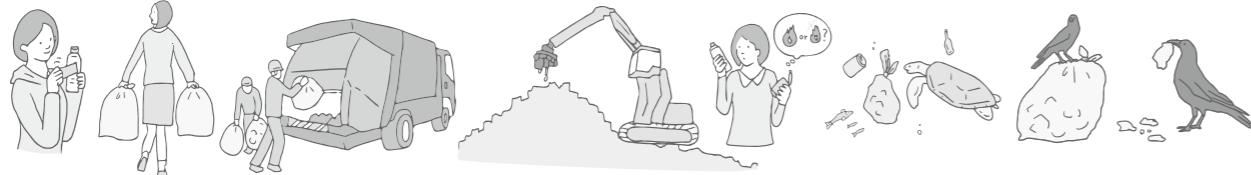
収集できないものは、「違反シール」を貼り回収しません。違反シールが貼られたものは、出した方が責任を持って持ち帰り、正しいルールで出し直してください。

「資源とごみ分別の手引き」を次の場所で配布しています。

役場窓口・多目的研修集会施設・  
子育て支援課・ふるさと文化の館・  
町民体育館

資源とごみの分け方についてのより詳しい情報は町公式ウェブサイトでもご覧になれます。

小野町 ごみの出し方



## 全国大会出場者へ激励金交付

全国大会出場者に対し、小野町文化・体育振興基金から激励金が贈られました。町長からは「日頃の練習の成果を思う存分発揮し、悔いのないように頑張ってきてください」と激励のことばが送られました。

出場者のご努力に敬意を表し、今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

各大会への出場者は次のとおりです。(敬称略)



吉田さん(中央)、佐藤さん(右から2番目)

| 大会名               | 大会日        | 大会会場           | 氏名    | 所属        |
|-------------------|------------|----------------|-------|-----------|
| 第4回全日本少年少女空手道選抜大会 | 2月14日(金)から | 横浜BUNTAI(神奈川県) | 吉田 宙空 | 小野小学校(1年) |
| 第19回全国中学生空手道選抜大会  | 3月28日(金)から | 亀岡運動公園体育館(京都府) | 佐藤 麻陽 | 小野中学校(1年) |

## 会田知恵子さんが金賞(東北農政局長賞)を受賞 第50回福島県花き品評会

第50回福島県花き品評会で会田知恵子さん(小野赤沼)がリンドウを出品し、みごと金賞(東北農政局長賞)を受賞されました。

同品評会は花き生産者の生産技術の向上と、県産花きの需要拡大、花き産業並びに花き文化の発展を目的に開催されており、50回を数える伝統ある品評会です。

今回は、宿根カスミソウ、トルコギキョウ、リンドウ、カラーなど計200点の出品があり、色、形状、全体のバランスなどによる審査が行われ、金賞3点、銀賞10点、銅賞12点が選出されました。

後日、会田さんが役場を訪れ、町長に受賞を報告しました。

今回の受賞に対して敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍をご期待します。



会田さん(前列右から4番目)



会田さん(右)